

第七十六回
帝國議會
貴族院

治安維持法改正法律案特別委員會會議事速記録第二號

昭和十六年二月二十四日(月曜日)午前十時九分開會

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) ソレデハ只今カラ開會ヲ致シマス

○政府委員(秋山要君) 一昨日資料ノ御要求ガゴザイマシタガ、其ノコトニ付キマシテ先ズ申上ゲタイト思ヒマス、御要求ノ資料ノ中人民戰線方策ノ内容及ビ一昨年秋ノ所謂統一人民戰線方策ノ内容、ソレカラ學生ノ治安維持法違反ヲ起スニ至ツタ動機調、大學關係治安維持法違反調、愛國團體ノ綱領、是ハ至急提出致シタイト存ジマス、但大學關係治安維持法處分調ハ帝國大學ニ限ラズ、總テノ大學ニ關スルモノヲ文部省ヨリ提出サレルコトニナツテ居リマスガ、個人調、個人別ニ互ルモノハ、教授、學生ヲ問ハズ、提出ガ困難ダサウデアリマスカラ、ドウゾ此ノ點ハ御了承ヲ願ヒタイト存ジマス、ソレカラ愛國團體ノ綱領ハ偽裝的ナモノト思ハレル愛國團體ダケ宜イト云フコトデゴザイマスガ、ソレニ限ラズ、主要ナ團體一般ニ關スル調査ヲ提出致シタイト存ジマス、ソレデ御了承ヲ願ヒタイト存ジマス、尙御要求ノアリマシタ資料ノ中、治安維持法改正案ノ變遷ニ關スル資料ハ、既ニ御手許ニ提出シテアルト存ジマス、轉向者ノ再犯調モ既ニ提出シタ資料ノ中ニゴザイマスカラ、ソレヲ御覽願ヒタイト存ジマスガ、再犯ヲ犯スニ至ツタ動機調ハチヨット間ニ合ヒ兼ネマスノデ、ソレハ御許シテ願ヒタイト存ジマス、ソレカラ思想犯罪續發

ノ根本原因、多數ノ結合體ヲ結社トシテ取締リ得ナカッタ實例、類似宗教團體ニシテ治安維持法ヲ適用シ得ナイデ、不敬其ノ他ノ個別的犯行トシテ處罰スルニ止メタ實例、三・一五事件及四・一六事件ノ内容、思想對策、是等ニ付キマシテハ、情勢説明ノ際又ハ其ノ後ノ會議ノ際ニ、適當ナ機會ニ申上ゲタイト存ジマス、尙官廳又ハ重要會社ニ勤務セル者デアツテ、思想運動ニ關係シタモノノ數ニ付キマシテハ、既ニ提出シテアリマスル資料ノ中、參考資料追加ノ三、職業別人員表ヲ御覽願ヒタイト存ジマスガ、ソレ以上ニ互ルコトハ祕密會ニ於キマシテ、搜查又ハ豫審ニ關係ノナイ限度ニ於キマシテ御説明ヲ申上ゲタイト存ジマス、尙御話ノアリマシタ事柄ノ中ニ、私有財産制度否認ヲ目的トスル團體ハ目下ノ所ゴザイマセス、最後ニ申上ゲマスガ、情勢説明ハ成ルベク公開ノ席述ベルヤウニト云フ御要求デゴザイマシテ、誠ニ御尤モナコトデアリマスルノデ、成ルベク左様ニ致シタイト存ジマシテ、色々御説明ノ方法ニ付テ研究ヲ致シテ見タノデゴザイマスガ、何分ニモ現下ノヤウナ時局デアリマスルノデ、新聞等ニ掲載セラレマスル時ハ、意外ノ反響ヲ起サウナ虞レモゴザイマスバカリデナク、公表シテ宜イモノト、公表出來ナイモノトヲ分ケテ、御説明申上ゲルコトガ非常ニ困難デゴザイマスノデ、大體ハ祕密會デ申上ゲル外ハタイト存ジマス、唯三・一五事件及四・一五事件ノ内容ハ、是ハ

過去ノコトデゴザイマスノデ、此ノ分ダケハ公開ノ席デ御説明ヲ申上ゲタイト存ジマス、ドウゾ何分其ノ様ニ御了承ヲ願ヒタイト存ジマス、ソレデハ是カラ最近ノ思想運動情勢ニ付キマシテ御説明ヲ申上ゲタイト存ジマス、御説明ハ一、所謂三・一五事件及四・一六事件ノ概要、二、最近ニ於ケル「コミンテルン」ノ我國ニ對スル策動狀況、四、支那大陸ニ於ケル邦人共產主義者ノ活動狀況、五、最近ニ於ケル民族の運動ノ概況、六、類似宗教運動ノ情勢、七、最近ニ於ケル思想犯罪續發ノ原因、サウ云フ順序ニ從ッテ申上ゲタイト存ジマス、此ノ中先程モ申上ゲマシタヤウニ、所謂三・一五事件及四・一六事件ノ概要以外ハ、祕密會デ申上ゲタイト存ズルデアリマスガ、最近ノ運動情勢ハ内地ト大陸トガ密接ニ結び付イテ居リマスバカリデナク、相當複雑ニナツテ居リマスルノデ可ナリ長イ時間ヲ要スルカト思ヒマスガ、ドウゾ此ノ點惡シカラズ御了承ヲ願ヒタイト存ジマス、ソレデハ先ツ所謂三・一五事件及四・一六事件ノ概要ニ付テ申上ゲマス、第一次日本共產黨ハ大正十一年七月堺利彦、徳田球一、佐野學、荒畑勝三、近藤榮藏、高津正道等ニ依リマシテ結成セラレタモノデアリマシテ、宮廷寺社、大地主ノ土地沒收等ヲ其ノ綱領ニ掲ゲマシテ、同年十一月開催セラレマシタ「コミンテルン」ノ第四回世界大會ニ於キマシテ、「コミンテルン」ノ日本支部タルコトヲ承認セラレマシテ、爾來「コミンテルン」ノ指導下ニ活潑ナル活動ヲ

展開スルニ至ツタデアリマスガ、大正十二年六月五日ニ所謂曙ノ手入レガ行ハレマシテ、堺利彦ヲ初メ同黨ノ黨員三十數名ガ檢舉セラレマシテ、治安警察法違反トシテソレノ處分ヲ受ケタデアリマス、此ノ檢舉ニ依リマシテ同黨ハ潰滅狀態ニ陥リ大正十三年三月自ラ解散ノ決議ヲ致スニ至リマシテ、僅ニ黨ノ殘務整理及ビ共產主義運動ノ助成機關トシテ、「ビューロー」ヲ設置致シマシテ、雜誌「マルクス」主義ヲ發行シテ、共產主義思想ノ宣傳ニ從事スルト共ニ、同志トノ連絡ニ努メテ、祕カニ再舉ノ機ヲ待ツニ止マツタデアリマス、然ルニ同年六月開催セラレマシタ「コミンテルン」第五回大會ハ、日本共產黨ニ對シ即時再建ヲ指令シ、同大會ニ出席シテ居リマシタ佐野學、近藤榮藏等ハ其ノ指令ヲ受ケマシテ上海ニ至リ、内地カラ北原龍雄ヲ招致シマシテ、再建ヲ命ジ、國內ニ於ケル殘留分子ハ其ノ指令ニ從ヒマシテ黨再建ニ著手シタデアリマス、詳細ナル打合ヲ行フ爲ニ荒畑勝三、徳田球一、佐野文夫等ハ大正十四年一月上海ニ渡リマシテ、佐野學ヲ始メ「コミンテルン」極東部長「ボイチンスキー」ト會見シマシテ、協議ノ結果黨組織ノ基本方針トシマシテ、從來黨ガ單ニ個人關係ヲ迫ッテ黨員ヲ結合シ、抽象的、觀念的理論ニ依ッテ指導シタ所ノ誤謬ヲ清算シテ、大衆ヲ基礎トスル革命的戰術ニ依ルコト、專制主義及ビ日和見主義ニ對スル鬭爭ヲ通ジテ、大衆ノ間ニ積極的宣傳、煽動ヲ開始スルコト、合法

文書活動ト非法文書活動トヲ併セ行フコトト云ツヤウナ條項ヲ決議シタノデアリマス、是ガ即チ所謂一月「デーゼ」又ハ上海「デーゼ」ト言ハレテ居ルモノデアリマス、斯様ニシテ黨再建ノ基本方針ガ決定セラレマシテ、同年ノ八月上旬、東京府下下落合ノ佐野學方ニ於キマシテ、同人ヲ始メ荒畑勝三、北浦千太郎等ガ會合シマシテ、黨結成迄ノ中間機關トシテ「コムニスト・グループ」ヲ結成シマシテ、其ノ役員ヲ定メ、同年九月ニハ機關紙「無産者新聞」ヲ創刊シマシテ、關東及比關西兩地方委員長ヲ任命スルナド、著々其ノ組織ヲ擴大シマシテ、大正十五年十二月迄ニハ黨員百二十五名ノ多キニ達シタノデアリマスガ、同月四日、山形縣ノ山川村五色温泉ニ於テ、佐野文夫、福本和夫、渡邊政之輔、中尾勝男、松尾直義、三田村四郎、門屋博、菊田善五郎、水野成夫、國領伍一郎、喜入虎太郎、日下部千代一、中野尙夫、藤井哲夫、豐田直、齋藤久雄、片山肇等、此ノ十七名ガ會合シマシテ、協議ノ結果宣言、綱領、中央委員等ヲ決定シ、黨ハ我が國支配階級ヲ打倒シ、資本主義社會ヲ變革シ「プロレタリアート」ノ獨裁ニ依リ共產主義社會ノ實現ヲ圖リ、ソレト共ニ世界革命ノ遂行ニ參加邁進セムトスベキ旨ヲ冒頭トシテ居リマスル黨ノ規約ヲ作成シ、翌五日、佐野、福本、渡邊、三田村、中尾ノ五名ハ同縣下ノ小野川温泉ニ於テ第一回中央委員會ヲ開催シ、中央部ノ組織ヲ次ノヤウニ決定シタノデアリマス、中央委員長佐野文夫、政治部長福本和夫、組織部長渡邊政之輔、機關紙部長佐野學、「コミンテルン」駐在日本代表德田球一、斯様ニシテ第二次日本共產黨ノ組織ガ確立セラ

レタノデアリマス、第一次共產黨ハ所謂山川「イズム」ヲ指導精神トシテ居リマシタノニ反シマシテ、第二次共產黨ハ所謂福本「イズム」ノ上ニ立ッテ居ッタノデアリマス、然ルニ結黨直後福本「イズム」ニ對スル反對ガ黨内カラ發生シマシテ、渡邊ヲ中心トセル所謂勞働者派ガ反對ヲ唱ヘタバカリデナク、福本「イズム」ニ立脚スル此ノ奇矯過激ナ言動ハ徒ニ分裂紛亂ヲ招キマシテ、一般勞働者ノ背反ヲ激成スルニ至リマシテ、黨内ノ對立ハ段々熾烈化スルニ至リマシタノデ、此ノ對立ヲ解決スル爲ニ「コミンテルン」ノ批判ヲ受クルコトガ必要トナリマシテ、福本、渡邊、德田、佐野文夫等ハ昭和二年ノ二月極秘裡ニ入露致シ、同年七月開催セラレマシタ「コミンテルン」日本問題特別委員會ニ於テ其ノ批判檢討ガ行ハレタ結果、日本共產黨ハ宗派的精神ニ累ヒセラレ、共產黨ノ役割及勞働運動ニ於ケル重要ナル役割ト云フモノヲ過少ニ評價シテ居ル、又理論的要素ヲ過當ニ主張シ過ギテ、知識階級ヲ過重ニ評價シ、共產黨ヲ大衆カラ戰術的ニ孤立セシメタノダト、斯ウ云フ風ニナシマシテ、今後日本共產黨ハ其ノ理論的政治的水準ノ向上ニ努力スルト共ニ、黨ヲシテ最も大衆的ナルモノタラシメ、日本「プロレタリアート」ノ總テノ進歩的、革命的要素ヲ黨内ニ把握シナケレバナラナイ、黨ハ其ノ目的ニ於テモ其ノ構成ニ於テモ勞働者ノ黨デナケレバナラナイトシマシテ、日本共產黨ノ中心「スローガン」ヲ勞働者、農民ノ政府ノ樹立、「プロレタリアート」獨裁ト云フヤウニ定メマシテ、尙要求「スローガン」トシテ帝國主義戰爭ノ危機ニ對スル鬭爭、支那革命カラ手ヲ引ケ、「ソヴィエット」同盟ヲ擁

護等十三項目ニ互ル當面ノ要求「スローガン」ヲ示シマシテ、此ノ兩者ヲ結合スルヤウニ努力スベシト云フ指令ヲ發シタノデアリマス、之ガ即チ所謂七月「デーゼ」又ハ二十年「デーゼ」ト言ハレルモノデアリマス、福本等ハ此ノ「デーゼ」ヲ携ヘマシテ歸國シ、同年十二月栃木縣日光山中ニ開催セラレマシタ中央委員會ニ於テ右ノ「デーゼ」ヲ承認シ、之ニ從ヒ政治「デーゼ」、組織「デーゼ」ナドヲ作成シマシテ黨ノ再組織ヲ行ッタノデアリマス、即チ勞働者大衆ニ基礎ヲ置キ、工場細胞ヲ以テ黨ノ基礎組織ト爲ス方針ノ下ニ細胞地區委員會、地方委員會、中央委員會ノ各機關ヲ設ケ民主主義的中央集權主義ニ依リ下方ヨリ順次上方ニ活動ヲ反映セシムルコトトシマシテ、大衆團體内ニ黨「フラクシオン」ヲ設ケ、之ガ左翼化ヲ考ヘマシテ、昭和三年一月カラハ非合法ナル黨中央機關紙トシテ「赤旗」ヲ創刊シ、黨ノ存在及政策ノ宣傳、黨員獲得ニ努メタル外、同年二月施行セラレマシタ第一回ノ普選ニ當ッテハ、渡邊政之輔ヲ委員長トスル選舉統制委員會ヲ設ケマシテ、黨ノ大衆化ヲ圖ル爲、共產黨獨自ノ候補者ヲ立テ、過激ナル「スローガン」ヲ掲ゲマシテ、表面運動ニ進出スル等、其ノ組織影響ノ擴大強化ノ爲ニ、全勢力ヲ傾注スルト共ニ、黨大會開催ノ準備ヲ進メテ居ッタノデアリマシテ、日本共產黨ノ署名ト其ノ矯激ナル政策ナドヲ印刷シタ檄文、「ビラ」ナドガ、工場ノ壁ニモ電柱ニモ將又便所ノ中ニ迄貼付サレ、赤旗ヲ初メ各種ノ不穩文書ガ各地ニ發見サレタノモ、此ノ時ノコトデアリマス、斯様ニ大衆ノ前ニ其ノ全貌ヲ現サムトシマシタ日日本共產黨ニ對シ、同年三月十五日早曉ヲ期

シテ、一道三府二十七縣ニ互ッテ一齊檢學ガ斷行セラレマシタガ、之ガ世ニ所謂四・一五事件デアリマシテ、檢學セラレタ者ノ數ハ凡ソ三千名、其ノ内治安維持法違反トシテ起訴セラレタ者ハ四百八十四名ノ多キニ達シマシタ、此ノ大檢學ニ依リマシテ、黨ノ組織ハ壊滅ニ瀕シ、一時其ノ活動ヲ中止スルニ至ッタノデアリマスガ、黨常任中央委員デアリマス渡邊政之輔、鍋山貞親、國領伍一郎、中尾勝男、關東ノ村尾薩男、信越ノ河合悦三、北海道ノ三田村四郎、九州ノ藤井哲夫等ノ各地方委員長ハ、何レモ巧ニ檢學ヲ免レマシテ、佐野學ハ檢學ノ前日上海ニ向ヒ、市川正一ハ當時「モスコウ」ニ滞在中デアッタ爲ニ、首腦部ノ大部分ハ未檢學ニ終ッタノデアリマス、渡邊政之輔ハ中尾勝男ト共ニ中央事務局ヲ構成シマシテ、同志トノ連結回復ニ努ムルト共ニ、三月二十二日岩田義道ヲ上海ニ派遣シ、「コミンテルン」極東事務局ニ檢舉狀況ヲ報告セシメタノデアリマス、其ノ結果「コミンテルン」本部ハ、黨再建ノ爲、當時「クートベ」(東洋勤勞者共產主義大學)ニ在學中ノ相馬一郎、酒井定吉等約三十名ヲ歸國セシメマシタガ、是等ノ者ハ「コミンテルン」ヨリ旅費ノ支給ヲ受ケ、順次歸國ヲ致シ、國內ニ殘留シテ居ル分子ト連絡ヲ圖リ、黨再建ヲ圖ッタノデアリマスガ、三月ヨリ四月ニ互ッテ中尾勝男、門屋博、八月ニハ河合悦三、岩田義道、十月ニハ國領伍一郎等ガ相次グ檢學セラレ、十月七日ニハ上海ヨリ歸國ノ途ニ在ッタ渡邊政之輔ガ基隆寄港ノ際、舉動不審ノ廉ニ依ッテ巡查ニ逮捕セラレムトスルヤ、「ピストル」ヲ以テ巡查ヲ射殺致シ、其ノ場ニ於テ「ピストル」自殺ヲ遂ゲマシテ、黨ノ最高

幹部デアツク佐野學、市川正一、鍋山貞親ハ當時海外ニ在ツク爲ニ、三田村四郎ガ黨臨時指導部ヲ作りマシテ、黨員トノ連絡、檢舉對策、國外幹部トノ連絡ニ當テ居ッタノデアリマス、市川正一ハ、「コミンテルン」ニ於テ再建方針ヲ協議シ、上海ニテ活動資金ヲ受取りマシテ、昭和四年四月歸國スルヤ直チニ自ラ首領トナリマシテ、三田村四郎、間庭末吉、砂間一良、高橋貞樹ト共ニ、十一月中旬中央事務局ヲ構成シ、赤旗ヲ再刊致シマシテ、新タニ赤旗「パンフレット」ヲ發行スルナド、先ヅ文書活動ヲ開始シ、次イデ殘黨員ノ糾合ト新加入者獲得ニ努メタノデアリマスガ、昭和四年二月鍋山ガ歸國シマシタノデ、市川、鍋山、三田村ノ三名ヲ以テ最高指導部ヲ構成シ、黨活動ヲ統轄シタノデアリマス、中央事務局ハ昭和四年一月以來、關東、關西、九州、東北、北海道ニ巡廻「オルグ」ヲ派遣シ、印刷物ノ配布、情報蒐集、黨員、「エーゼント」、「シンパサイザー」ヲ獲得、「アドレス」ノ設定ナド、組織ノ擴大ニ努メタ結果、黨勢ガ急速ニ伸張シマシテ、組織著手後三箇月ニシテ黨ノ各種文書ハ殆ド全國ノ重要地ニ頒布セラレ、昭和四年三月ニハ地方ニ於ケル黨員ノ數ダケデモ百餘名ノ多キニ達シタノデアリマス、中央事務局ハ東京ニ地方委員會ヲ設ケ、大阪、神戸、其ノ他各地ニ黨細胞又ハ其ノ準備會ヲ設ケルナド、順次組織ヲ整備スルト共ニ、昭和四年三月行ハレマシタ東京市會議員選舉ニ際シテハ「革命的勞動者」市會ニ送レ「ト云フガ如キ矯激ナル」ビラ、「ボスター」ナドヲ、選舉鬭爭同盟東京中央委員會ノ署名ヲ以チマシテ全市ニ頒布シ、解放運動、犠牲者救援會

ノ左翼化ヲ圖リ、日本勞働組合全國協議會ヲ結成スル等、其ノ活動ガ漸ク全國的トナリマシテ、且表面化スルニ致リマシタノデ、昭和四年四月十六日、一道三府二十四縣ニ互リ一齊檢舉ガ斷行セラレタノデアリマス、之ガ所謂四・一六事件デアリマスガ、當日檢舉シタ者ハ約七百名ニ達シ、其ノ後モ檢舉ヲ續行シ、同月二十七日、市川正一、同月二十九日鍋山貞親、三田村四郎ヲ檢舉シタ外、六月十六日上海ニ於テ佐野學ガ逮捕セラレル等、黨首腦部ハ殆ド全部檢舉セラレ、之ニ依テ日本共產黨ハ全面的ニ崩壞ノ運命ヲ迎ルニ至ツタノデアリマス、以上ガ三・一五、四・一六事件ノ概況デゴザイマス、次ニ最近ニ於ケル左翼運動ノ狀況ト其ノ特徴ヲ申上ゲマスガ、是カラ先ハドウゾ秘密會ニ御願ヒ致シマス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) ソレデハ秘密會ニ致シタイト思ヒマス、議員、國務大臣、議事ニ關スル政府委員及ビ事務ヲ執ル者ノ外ハ退場ヲ願ヒタイト思ヒマス

午前十時三十八分秘密會ニ移ル

午後零時二分秘密會ヲ終ル

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) ソレデハ秘密會ヲ閉ヂマス、午前ハ此ノ程度ニ止メテ置キマシテ、午後ハ一時半カラ開會致シマズ、休憩致シマス

午後零時三分休憩

午後一時三十六分開會

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) ソレデハ午前ニ引續キマシテ開會致シマス、秘密會ニ致シタイト思ヒマスノデ、國務大臣、議員、關係ノアル政府委員及ビ關係ノアル事務員

ノ外ノ退場ヲ希望致シマス

午後一時三十七分秘密會ニ移ル

午後三時三十六分秘密會ヲ終ル

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) ソレデハ秘密會ヲ閉ヂマシテ公開ヲ致シマス、今日ハ此ノ程度ニ止メテ置キマシテ、明日午前十時カラ開會致シマス、今日ハ是デ散會ヲ致シマス

午後三時三十七分散會

出席者左ノ如シ

委員長	伯爵兒玉 秀雄君
副委員長	男爵渡邊 修二君
委員	公爵二條 弼基君
	侯爵井上 三郎君
	子爵岡部 長景君
	子爵舟橋 清賢君
	織田 萬君
	男爵井田 磐楠君
	田口 弼一君
	堀切善次郎君
	男爵伊江 朝助君
	山岡萬之助君
	次田大三郎君
	長岡隆一郎君
	竹下 豐次君
	山隈 康君
	上野喜左衛門君
國務大臣	柳川 平助君
政府委員	海軍省法務局長 潮見 茂樹君
	司法省刑事局長 秋山 要君
	司法書記官 太田 耐造君

昭和十六年二月二十六日印刷

昭和十六年二月二十七日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局